

令和元年度決算について

令和元年度決算が、令和2年6月9日開催の理事会で承認・確定されました。
以下、計算書類の内容の概要を説明します。(詳細については、学園ホームページをご覧ください。)

事業活動収支計算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位：百万円)

	科目	予算	決算 ^A	差異	前年決算 ^B	
					(A) - (B)	(A) - (B)
教育活動収入の部	事業活動収入の部				5,591	188
	学生生徒等納付金	5,788	5,779	9		
	手数料	141	206	△ 65	173	33
	寄付金	130	135	△ 5	137	△ 2
	経常費等補助金	645	570	75	663	△ 93
	付随事業収入	54	56	△ 2	55	0
教育活動支出の部	事業活動支出の部				6,835	△ 34
	人件費	3,913	3,772	141	3,920	△ 149
	教育研究経費	1,908	1,854	54	1,991	△ 137
	管理経費	740	673	68	655	17
	徴収不能額等	0	9	△ 9	20	△ 11
	教育活動支出計	6,562	6,307	254	6,587	△ 279
教育活動外収入の部	事業活動外収入の部				249	246
	受取利息・配当金	5	7	△ 2	5	2
	その他の教育活動外収入	3	3	0	6	△ 3
	教育活動外収入計	8	10	△ 2	11	0
	事業活動外支出の部				0	0
	借入金等利息	0	0	0	0	0
特別収入の部	事業活動収入の部				259	245
	資産売却差額	0	0	0	0	0
	その他の特別収入	0	24	△ 24	2	22
	特別収入計	0	24	△ 24	2	22
	事業活動支出の部				8	47
	資産処分差額	7	56	△ 49	8	47
特別支出の部	事業活動外支出の部				2	△ 2
	その他の特別支出	0	0	0	2	△ 2
	特別支出計	7	56	△ 49	11	45
	特別収支差額	△ 7	△ 32	25	△ 8	△ 23
	[予備費]	50		50		
	基本金組入前当年度収支差額	186	473	△ 287	251	222
基本金組入額合計	△ 336	△ 357	21	△ 183	△ 174	
当年度収支差額	△ 150	116	△ 266	68	48	
前年度繰越収支差額	△ 3,795	△ 3,795	0	△ 3,863	68	
翌年度繰越収支差額	△ 3,945	△ 3,679	△ 266	△ 3,795	116	

【令和元年度決算概要】

令和元年度は、「財務の健全性を維持する」事を基本方針として予算策定を行い、また、予算編成方針を変更することにより、予算と実績の乖離縮小を図りました。結果、今年度決算は、事業活動収支計算書における「経常収支差額」および基本金組入後の「当年度収支差額」が、下記のとおり予算・前年度実績に対し大幅に改善されました。

〈収入面〉

学生生徒等納付金が5,779百万円・手数料が206百万円と、それぞれ前年度実績比188百万円(3.3%)・33百万円(19.1%)の増となりました。学生生徒等納付金は中学校高等学校の在籍者が△70名純減しましたが、大学の在籍者が230名純増したことが主な増額要因です。また、手数料は志願者数の増加が寄与しています。

〈支出面〉

人件費が若干減っていますが、これは教員の年齢構成割合が下がったことにより教員給与及び退職給与引当金繰入額が減少したことが主な要因です。一方、教育研究経費は前年度比△137百万(6.9%)減少となり、教育研究経費比率の維持が今後の課題です。

〈経常収支差額〉

収入が学生生徒等納付金及び手数料で221百万円増加し、また支出面が大幅に改善された結果、経常収支差額は504百万円(前年度比245百万円・94.6%の増)となり、「財務の健全性を維持する」事ができる結果となりました。

〈当年度収支差額〉

基本金組入後の当年度収支差額も116百万円の黒字(前年度比48百万円・70.6%の増)となり「収支均衡」を果たすことができました。

資金収支計算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位：百万円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	5,788	5,779	9
手数料収入	141	206	△ 65
寄付金収入	130	135	△ 5
補助金収入	645	590	55
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	57	59	△ 2
受取利息・配当金収入	5	7	△ 2
雑収入	38	55	△ 16
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,148	1,124	25
その他の収入	27,099	27,596	△ 498
資金収入調整勘定	△ 1,294	△ 1,314	21
前年度繰越支払資金	6,585	6,585	
収入の部合計	40,343	40,821	△ 478
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	3,849	3,795	54
教育研究経費支出	1,288	1,241	47
管理経費支出	671	603	68
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	206	220	△ 14
設備関係支出	344	261	83
資産運用支出	21,116	21,516	△ 400
その他の支出	6,782	7,034	△ 252
[予備費]	50		50
資金支出調整勘定	△ 117	△ 120	2
翌年度繰越支払資金	6,154	6,271	△ 117
支出の部合計	40,343	40,821	△ 478

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：百万円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	26,605	26,107	498
有形固定資産	15,222	15,423	△ 202
特定資産	11,358	10,658	700
その他の固定資産	25	25	0
流動資産	6,991	7,205	△ 214
資産の部合計	33,596	33,311	284
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	1,593	1,618	△ 25
流動負債	1,418	1,582	△ 164
負債の部合計	3,011	3,200	△ 189
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	34,264	33,907	357
繰越収支差額	△ 3,679	△ 3,795	116
純資産の部合計	30,584	30,112	473
負債及び純資産の部合計	33,596	33,311	284

〈特定資産〉

当期減価償却額683百万円に対し、「建物償却引当特定資産」に300百万円、「法人維持特定資産」に400百万円の計700百万円を将来に備えて積み増しました。(昨年度は500百万円)。その結果、積立合計は「建物償却引当特定資産」が59億円、「法人維持特定資産」が45億3千万円となりました。